

問題 あるアーティストのコンサートチケットが定価の 10000 円で販売されているとしましょう。このチケットの売り手を A 社とします。いま、コンサート開催にかかる総費用を席数で割った金額、すなわちチケット 1 枚あたりの原価を 5000 円としましょう。現実のコンサートでは、S 席やアリーナ席など席によってチケットの価格は変わりますが、ここでは簡単化のため、すべての席は同じ条件とします。

B さんはこのチケットを購入したときは自分でコンサートに行こうと予定していましたが、チケットをネットオークションで高く転売できるなら売ってもよいと考えて出品してみました。この出品を見た C さんが入札に参加して 12000 円で落札し、チケットが転売されたとします。

この状況を前提として、次の質問に答えなさい。なおネットオークション会社に支払う手数料や郵送料等はゼロとします。

(1) A 社と B さんと C さんが得た余剰（＝交換から得た利益）は、それぞれどの程度の大きさでしょうか？ また、総余剰はどれくらいですか？

(2) 転売することが違法行為だとして禁止されており、ネットオークションサイトが存在しなかったとしましょう。このとき A 社と B さんと C さんの余剰は、それぞれどのように変化するでしょうか？ また、総余剰は転売が禁止されていない場合と比較するとどのように変化しますか？

(3) チケットを転売目的で購入し、会場付近等で転売して利益を上げる行為はダフ屋行為と呼ばれ、条例等で規制されています。なぜ個人がネットオークション等で不要になったチケットを転売することは許されているのにダフ屋行為は禁止されているのでしょうか？ 理由を考えて説明しなさい。

<経済学 解答例>

(1) A 社が得た余剰は、5000 円、B さんの余剰は 2000 円です。

C さんのチケットに対する支払意思が x 円だとすると、C さんの余剰は $x - 12000$ 円です。

総余剰は $x - 5000 = 5000 + 2000 + x - 12000$ です。

(2) 転売が禁止されているとき、B さんは C さんにチケットを譲ることができず、C さんは取引に参加できないため C さんの余剰はゼロになります。A 社が得る余剰は 5000 円です。

高く転売できる手段がないので、B さんは自分でコンサートに行くと考えられます。B さんのチケットに対する支払意思が y 円だとすると、B さんの余剰は $y - 10000$ 円です。

転売が禁止されているときの総余剰は $y - 5000 = 5000 + y - 10000 + 0$ です。

(1)で求めたように、転売が可能な時の総余剰は $x - 5000$ です。

したがって、転売が禁止されたときの総余剰－転売が可能なときの総余剰 $= y - x$ となります。

ここで、転売が成立する条件を考えてみましょう。

・ B さんがチケットを 12000 円で転売する条件

$$y \geq 12000 \cdots \textcircled{1}$$

・ C さんがチケットを 12000 円で落札する条件

$$x \geq 12000 \cdots \textcircled{2}$$

B さんと C さんの取引が実現するのは、上記の 2 条件①②が同時に成立するときです。したがって $x \geq y$ が成り立ちます。すなわち、 $y - x \leq 0$ であり、転売の禁止によって総余剰が $y - x$ だけ減少してしまったことがわかります。

(3) ダフ屋行為が禁止されている理由は、チケットの価格を不当につり上げたり、チケットの偽造や詐欺などの犯罪を助長したりすることで、公正なチケットの流通や消費者の利益を害するからです。チケットの交換の利益を損なうことがあったとしても、社会全体からみると治安維持や健全な市場維持などの面からダフ屋行為を禁止するメリットが上回るからであろうと考えられます。